

岡山県地域医療支援センター／岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

2013(平成25)年次報告書

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of
Okayama Prefecture

CONTENTS

P2 ご挨拶

P3 地域医療を支える未来の医療人の育成

- 地域卒学生・自治医科大学大学生合同セミナー in 牛窓の主催
- 地域卒学生と知事との懇談会
- 地域医療人材育成講座の行う地域医療実習への協力
- 医学生・大学院生講義・市民公開講座
- オープンキャンパスへの協力
- 多職種連携と地域包括ケアのワークショップ in 白石島への協力
- マッチングプラザ・レジナビフェアでの広報

P7 地域医療機関への医師派遣

- 無料職業紹介事業
 - ・事例紹介
 - ・県医師会・NPO法人岡山医師研修支援機構との協働
- 岡山大学医師の外勤での支援状況
- 医師分布状況等の把握分析
 - ・医師の偏在状況
 - ・医師の年齢分布
 - ・医療費・介護給付費の将来予測
 - ・病院医業収益と常勤換算医師数との関係
 - ・地域における救急搬送の受入割合
 - ・地域における推計市町村国保・後期高齢者医療費に対する医業収益の割合

P11 地域卒卒業医師のキャリア形成支援

- 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップの開催
- キャリアモデル考案
 - ・地域卒卒業医師のキャリア検討委員会の開催
 - ・地域卒学生の希望進路ヒアリングの実施
- キャリアモデル刷新
- 医療人キャリアセンターMUSCATとの協力

P13 着任環境の整備に関する助言・支援

- 地域の医療機関でのシミュレーショントレーニングの開催
- 地域医療機関の訪問ヒアリング調査
- 赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会への参加

P14 連携協力・情報発信

- 地域医療支援センター運営委員会
- しまね地域医療支援センターとの意見交換
- 地域医療支援センターの取組についての情報発信



地域医療を支える未来の医療人の育成

地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー in 牛窓の主催

日程 2013(平成25)年8月17日～18日
 場所 牛窓港周辺(街歩き)
 牛窓町公民館(レクチャー)
 おふくろの家(合宿ワークショップ)

参加者 <学生> 岡山大学医学科 地域枠、広島大学医学科 ふるさと枠、自治医科大学(岡山県出身)
 <教員他> 地域医療支援センター、地域医療人材育成講座、岡山県保健福祉部医療推進課 他

講師 瀬戸内市民病院 院長 福田和馬 氏
 成羽病院 医師 安井稔博 氏
 大原病院 医師 奈良藍子 氏
 瀬戸内市 市長 武久顕也 氏
 (写真左から)



昨年に引き続き、岡大・広大の地域枠学生、自治医科大学生が集まる合同セミナーを岡山大学大学院地域医療人材育成講座の共催のもと瀬戸内市牛窓町で開催しました。学生34名、スタッフ・ゲスト14名が参加しました。

今回は、地域の歴史的・文化的背景への理解を深めることを目的として、牛窓町観光ボランティア活動チームの皆さんのご協力を得て、牛窓の港町を案内していただきました。また、地域住民の皆様との語らいの場を設けていただき、16名の方から医療への期待などについて語っていただきました。その後、公民館にて福田院長(瀬戸内市民病院)から瀬戸内市における医療の状況について、安井先生(成羽病院)から義務年限について、奈良先生(大原病院)から女性医師としての勤務について、それぞれご講話いただきました。さらに、武久市長(瀬戸内市)も駆けつけて下さり、行政と医療の関わりについてお話いただきました。しっかり学んだ後に前島に移動し、食事をとり、交流を深めました。

2日目は則安課長(岡山県医療推進課)から医療コミュニケーションについて、岩瀬(岡山大学支部)からこの地域に必要な医療について考えるワークショップを行いました。活発に意見が交換され、各グループから素晴らしい発表がなされました。昼食後に集合写真を撮り、帰路につきました。

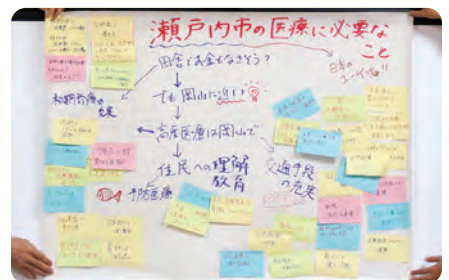
プログラム

8月17日(土)

- 10時～ 岡山駅西口バスターミナルを出发
瀬戸内市職員による牛窓の町並みと主要施設の解説
- 11時半～ 昼食
- 12時半～ 街歩き
観光ボランティアの方による牛窓港近辺の案内・地域の方々との懇話
- 14時半～ 講話
「瀬戸内市における医療の状況について」福田院長(瀬戸内市民病院)
「義務年限について」安井先生(成羽病院)
「女性医師としての勤務について」奈良先生(大原病院)
「行政と医療の関わりについて」武久市長(瀬戸内市)
- 17時頃～ 移動・チェックイン
- 18時半頃～ 夕食・意見交換
- 食後随時 入浴
- 入浴後随時 就寝

8月18日(日)

- 8時～ 朝食
- 9時～12時 ワークショップ
「コミュニケーション法:がん患者への告知」則安課長(岡山県)
「この地域に必要な医療を考える」岩瀬(岡山大学支部)
- 12時半～ 昼食
- 13時半～ 移動
- 15時頃 岡山駅到着



医学生・大学院生講義・市民公開講座

1. 学位について

日程 2013(平成25)年6月4日

岡山大学地域枠学生に対してミニレクチャーを行いました。また、広島大学ふるさと枠学生、自治医科大学学生にも送付し、自習を促しました。

2. 実習に行く前に

日程 2013(平成25)年7月23日

早期地域医療体験実習へ参加する岡山大学地域枠学生3名、一般枠学生23名に対して講義を行い、望ましい学習姿勢や守秘義務について解説しました。

3. 医療と介護にまつわる色々な問題

日程 2013(平成25)年9月17日、10月2日

9月17日は老年医学・緩和医療特論Ⅱを受講する岡山大学大学院生1名に対して、10月2日は市民向け公開講座を受講された市民9名に対して、講義を行いました。「医療」における関係者や課題を整理し、医療の限界や制度について解説しました。

おいしいの？

- キャリアにおいて役立つことがある。
例：大学教員、公的機関職員、研究所研究員
基幹病院指導的医師など・・・
(「研究ができる人」という意味合いが強い)
- Evidenced Based Medicineを実践できる。
(ないと実践できないわけではない)
(論文化されていないものは「ない」と同じ)

ほうれんそう



「報告・連絡・相談」は大変重要です。

ほうれんそうが出来ない人に医者になる資格はありません。

ドタキャンは絶対に止めてください。

やむを得ない事情が生じた時は速やかに連絡をして下さい。

医療と介護にまつわる色々な問題

- ☑日本の医療・介護には素晴らしい部分がたくさんあります。
皆保険制度、フリーアクセスなど。
- ☑20世紀中頃に確立した医療システムに微修正を加えてきました。
- ☑社会の変化は大きく、現場の最大限の努力でも対応しきれない状況です。

オープンキャンパスへの協力

日程 2013(平成25)年8月9日

岡山大学医学科のオープンキャンパスに協力しました。午前の部・午後の部と合わせて約1200名が参加しました。地域枠相談コーナーを設け、地域枠学生・県庁職員と共に高校生・保護者からの質問に対応しました。



多職種連携と地域包括ケアのワークショップ in 白石島への協力

日程 2013(平成25)年10月19日～20日

岡山大学医学部医療政策・医療経済学の浜田教授の企画したワークショップにファシリテーターとして協力しました。岡山大学、川崎医療福祉大学、新見公立大学、美作大学、旭川荘厚生専門学校に院生・学生62名と教員・ゲスト15名が参加しました。



今、ここから何かが始まる
多職種連携と地域包括ケア
ワークショップin白石島

●日時
2013年10月19日(土)～20日(日)

●会場
白石島「中西屋旅館」(合宿WS予定)

●費用
参加費、移動費、宿泊費は無料

●定員
岡山大学 先着40名程度(学部・学年不問)

●スケジュール
●1日目(10月19日) ●
・9:00 岡山大学郡田キャンパス(バス出発)～宮岡港へ
・11:00 宮岡港～白石島へ
・12:00 昼食(中西屋旅館)
・13:00-17:00 ワークショップ(その1)
・夕食、「中西屋旅館」宿泊
●2日目(10月20日) ●
・9:00 ワークショップ(その2)
・12:00 昼食
・13:30 白石島出発～宮岡港へ
・14:30 宮岡港～岡山大学郡田キャンパス
・16:00開講予定

●白石島(岡山県笠岡市)
・人口約1,000人(772人)の静かな島
・農業が中心で観光客も少なく、地域医療の必要性が強く、
北見本病院や介護施設、社会福祉センター等、
2010年以降に建てられた施設はほとんどなく、
医療の乏しさを、島民も感じている。

▲郡田キャンパスのお申込み/お問合せ▲
岡山大学学務部
学務課 学務課
(086)251-7171(英語)
(086)251-7171(日本語) 秘書
j.hanada@med.okayama-u.ac.jp

▲郡田キャンパスのお申込み/お問合せ▲
岡山大学地域総合研究センター
三村 聡 学務課長
http://www.okayama-u.ac.jp/human/ajgira
(086)251-7441
info-ajgira@okayama-u.ac.jp

マッチングプラザ・レジナビフェアでの広報

1. 岡山マッチングプラザ2013

日程 2013(平成25)年5月26日

NPO法人岡山医師研修支援機構主催の「岡山マッチングプラザ2013」に参加し、当センターのリーフレット及び医師の偏在状況のとりまとめを配付し、活動状況について広報しました。



2. レジナビフェア2013 in 大阪

日程 2013(平成25)年6月30日

「レジナビフェア2013 in 大阪」に参加し、岡山県の医療の状況や研修内容について広報し、研修施設の選択に悩む医学生・研修医の相談に乗りました。



地域医療機関への医師派遣

無料職業紹介事業

【事例紹介】

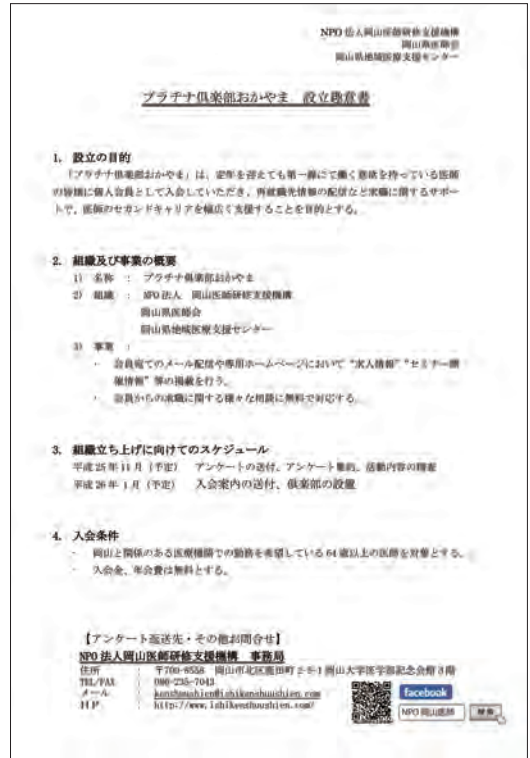
当センターのウェブサイトを開覧した県外の医師から、岡山県内での勤務を検討しているの、県内病院の情報を教えて欲しいとの連絡がありました。当センターで調整を行い、県内病院で勤務する運びとなりました。

また、県内の勤務医からへき地医療に携わりたいとの連絡があり、当センターと関係自治体で調整を行った結果、県内のへき地診療所で月2回勤務いただくことになりました。

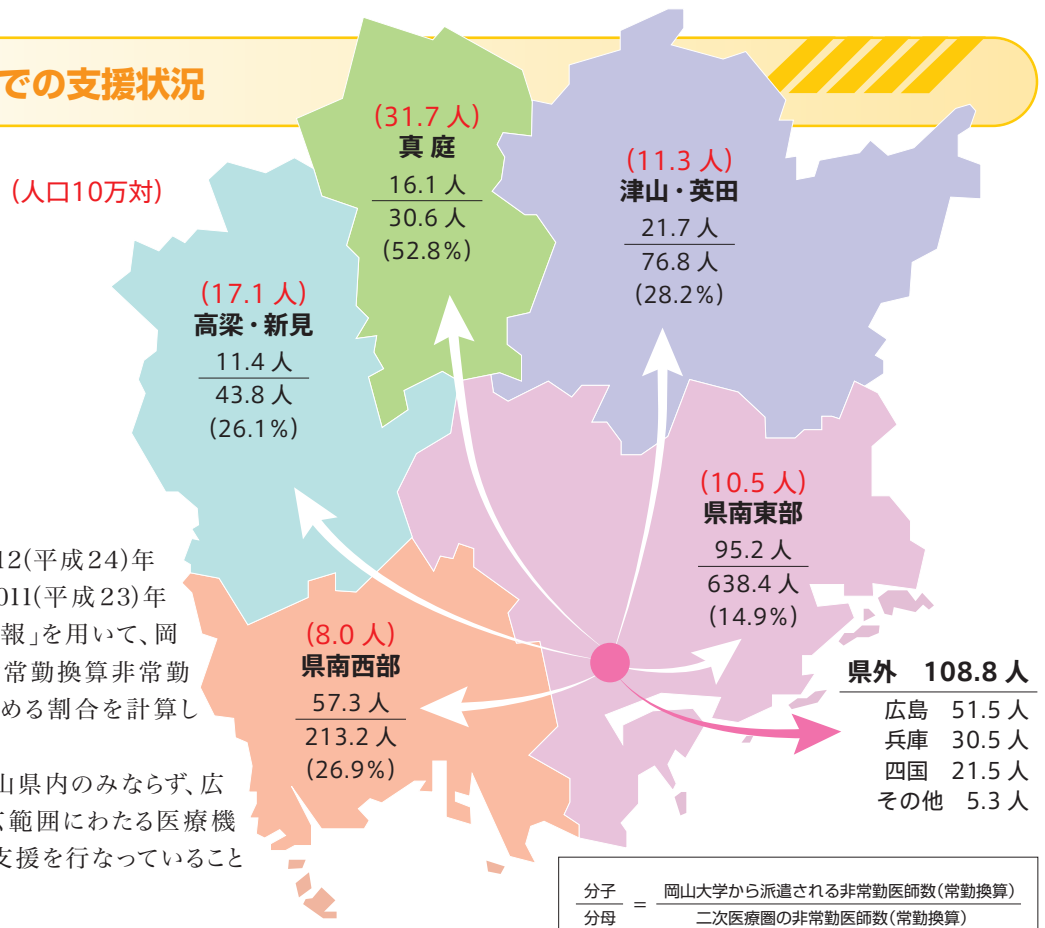
同様の問い合わせがあった際に、当センターとして適切に対応するため、2013(平成25)年12月から、岡山県内の医療機関での勤務を希望する医師からの求職情報と岡山県内の医療機関の医師求人情報を対象とする無料職業紹介所を開設することになりました。

【県医師会・NPO法人岡山医師研修支援機構との協働】

当センターに先行し、医師向けの無料職業紹介事業を行っている公益社団法人岡山県医師会とNPO法人岡山医師研修支援機構と協働し、定年を迎えても第一線にて働く意欲を持っている医師を対象として、再就職先情報の配信など求職に関するサポートを通じてセカンドキャリアを幅広く支援する無料職業紹介事業『プラチナ倶楽部おかやま』を立ち上げることになりました。立ち上げ前のアンケート調査では「社会に貢献できる仕事を紹介してほしい」といった期待も寄せられました。



岡山大学医師の外勤での支援状況



住民基本台帳に基づく2012(平成24)年3月31日時点の県人口及び2011(平成23)年度法定報告の「医療機能情報」を用いて、岡山県の各地域の人口10万対常勤換算非常勤医師数と岡山大学医師の占める割合を計算しました。

その結果、岡山大学は岡山県内のみならず、広島県・兵庫県・四国地方の広範囲にわたる医療機関に対して非常勤勤務での支援を行なっていることが明らかとなりました。

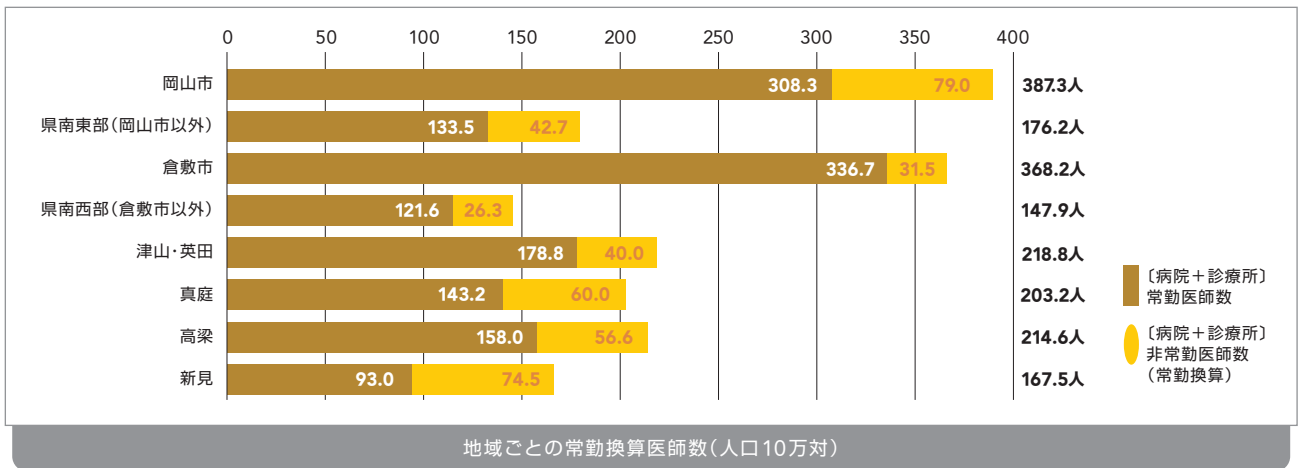
$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} = \frac{\text{岡山大学から派遣される非常勤医師数(常勤換算)}}{\text{二次医療圏の非常勤医師数(常勤換算)}}$$

医師分布状況等の把握分析

医師の適正配置には、医師の分布状況等のデータの把握が不可欠です。当センターの行なった分析の一部をご紹介します。ここに掲載できなかった分析については、当センターのウェブサイトをご覧ください。

1. 医師の偏在状況

「医療機能情報(2011(平成23)年度報告)」に基づいて、岡山県の医師の偏在状況を検討したところ、大きな偏りが認められました。県北のみならず、岡山市以外の県南東部、倉敷市以外の県南西部に関しても、医師数が少ないことが明らかとなりました。



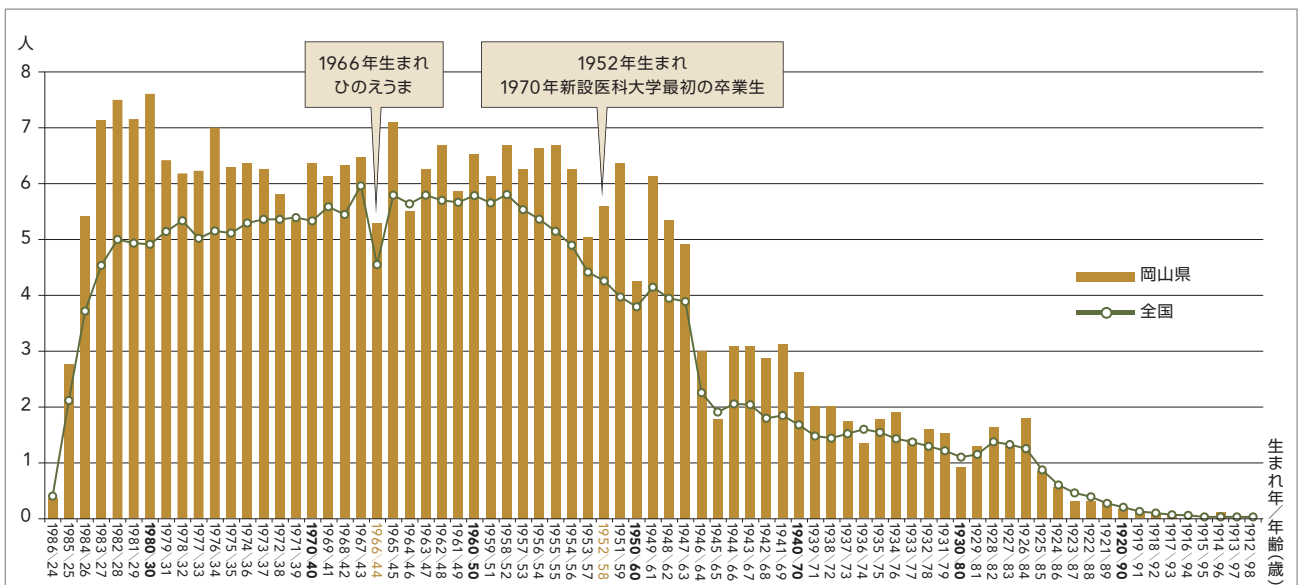
2. 医師の年齢分布

2010(平成22)年の「国勢調査」及び「医師・歯科医師・薬剤師調査」に基づいて、岡山県の医師の年齢分布を検討したところ、岡山県には概ねどの年齢でも全国よりも医師が多く、特に若い医師が多いことが分かりました。

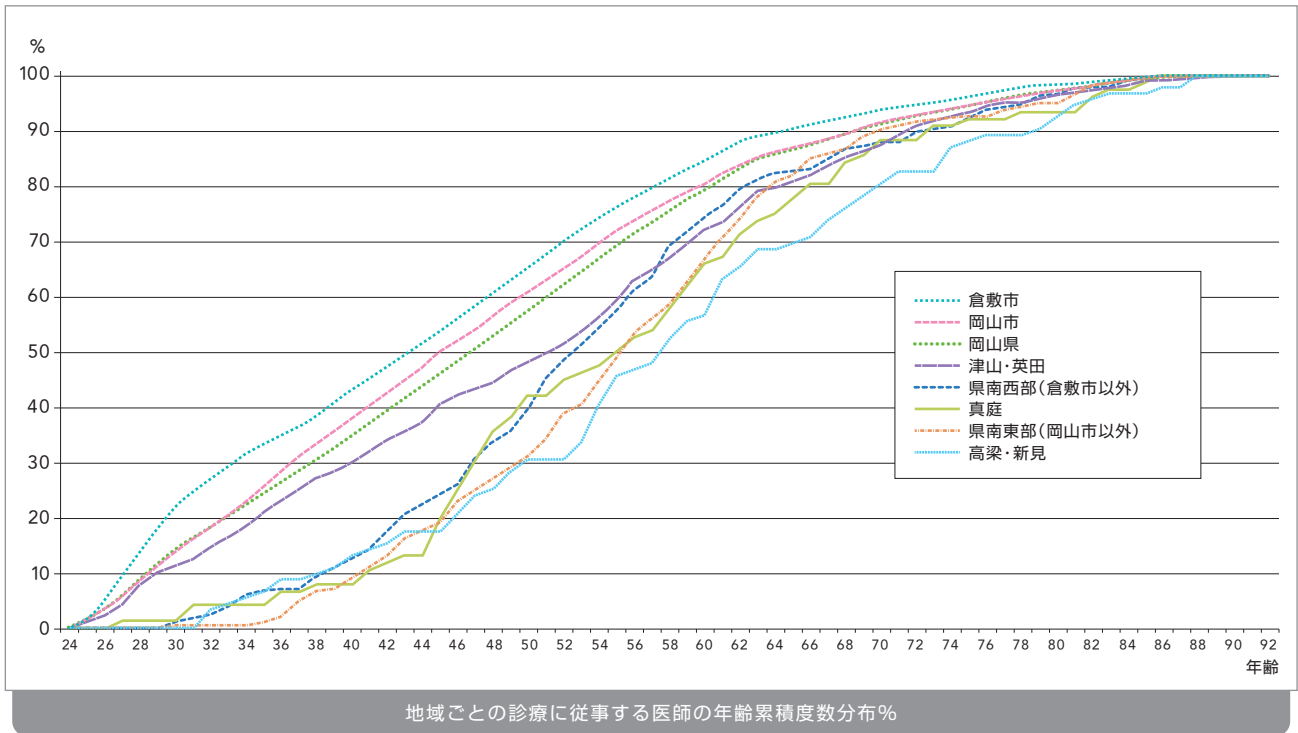
さらに、地域ごとに見たところ、20代・30代の医師のほとんどは岡山市、倉敷市におり、それ以外の地域は医師の高齢化が進んでいることが分かりました。

	医師数	平均年齢±SD	中央値	65歳以上高齢化率	75歳以上高齢化率
岡山県	5,016	48.2 ± 14.9	47	14.2	6.1
県南東部圏域	2,685	48.4 ± 14.8	47	14.3	6.3
岡山市	2,401	47.5 ± 14.9	45	13.7	6.1
岡山市以外	284	56.1 ± 11.5	56	19.4	7.7
県南西部圏域	1,820	46.6 ± 14.7	46	11.5	5.2
倉敷市	1,532	45.1 ± 14.6	44	10.4	4.4
倉敷市以外	288	54.2 ± 12.5	53	17.7	9.0
津山・英田圏域	343	51.0 ± 15.6	52	20.4	7.3
真庭圏域	76	56.0 ± 13.0	56	25.0	9.2
高梁・新見圏域	92	58.2 ± 14.0	58	31.5	13.0

医師の年齢 地域ごと

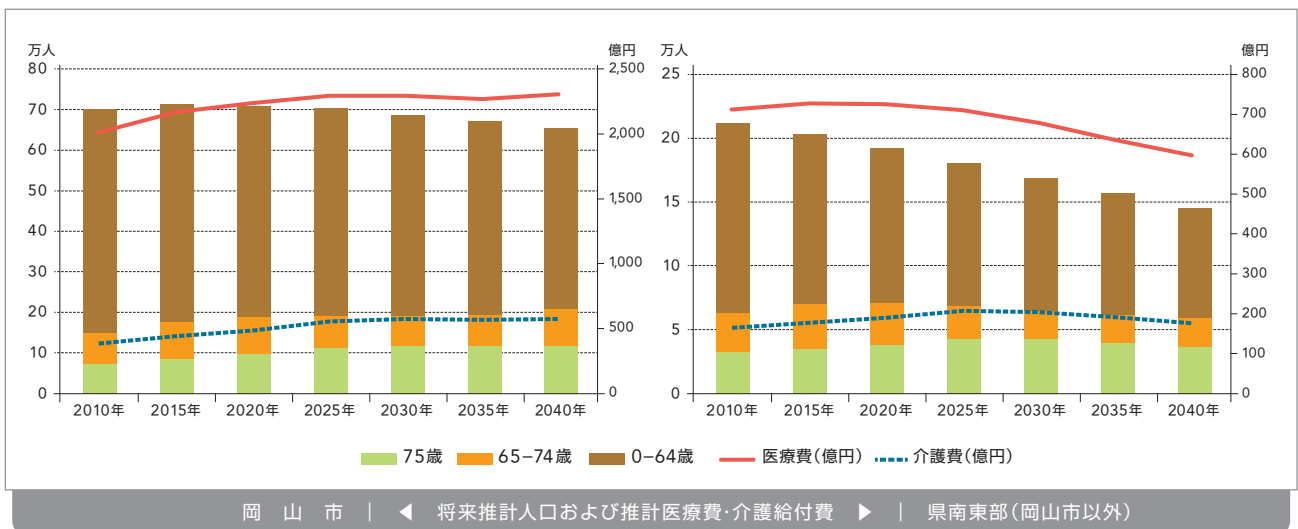
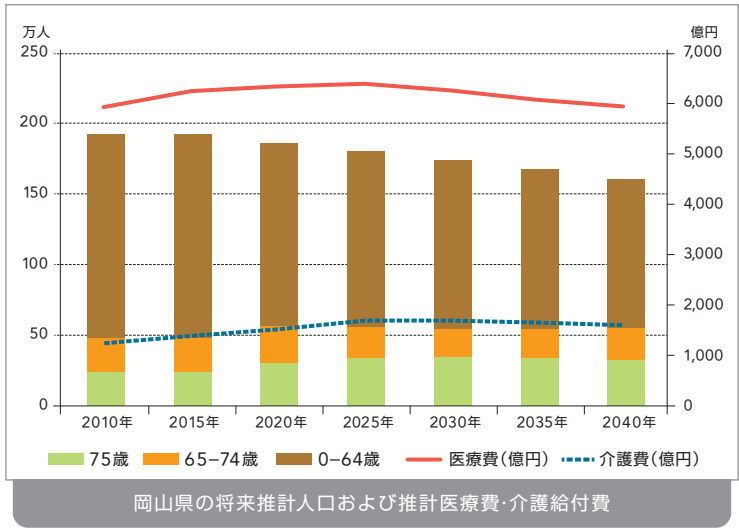


2010年 年齢別人口10万対医師数 全国と岡山県の比較



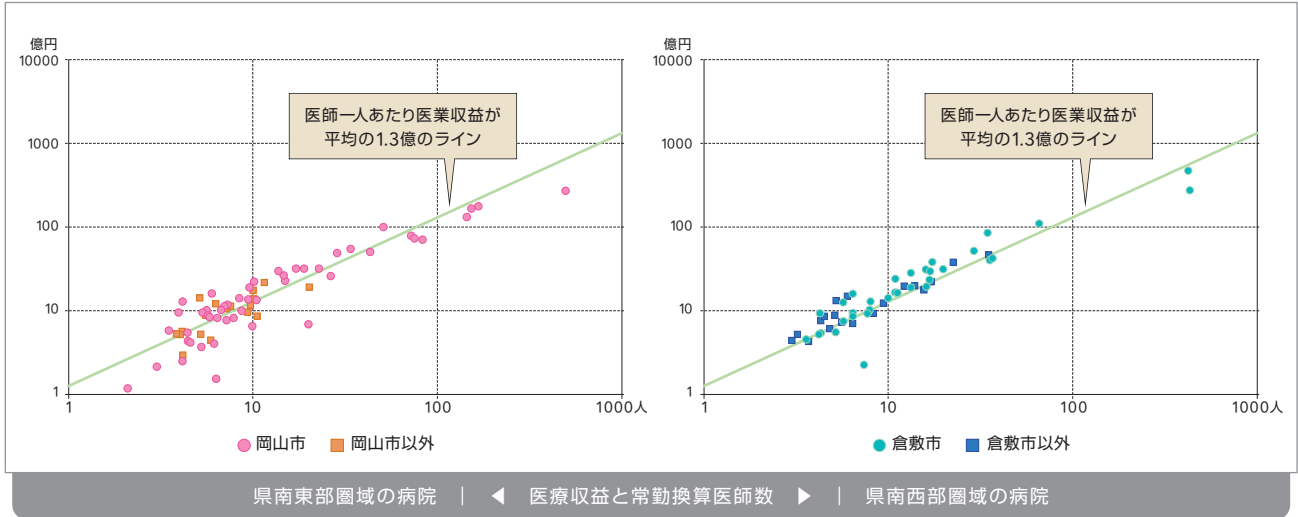
3. 医療費・介護給付費の将来予測

2010(平成22)年「国勢調査」、「国民医療費」、「介護給付費実態調査報告書(2009(平成21)年5月審査分～2010(平成22)年4月審査分)」及び「日本の将来推計人口(2013(平成25)年3月27日公表データ:国立社会保障・人口問題研究所による推計)」を基に医療費・介護給付費の将来推計を行いました。将来においても現在と同程度の医療・介護が同程度の点数で提供されると仮定すると、岡山県の医療費は2025(平成37)年にピークを迎え、介護給付費は2030(平成42)年にピークを迎えると推計されました。地域ごとに推計したところ、岡山市及び倉敷市の医療費は2025(平成37)年に10%程度増加した後は緩やかに減少し、介護給付費は急速に増大するという結果でした。一方、岡山市及び倉敷市以外の地域の医療費は減少傾向になり、介護給付費は横ばい～緩やかな減少傾向となると推測されました。



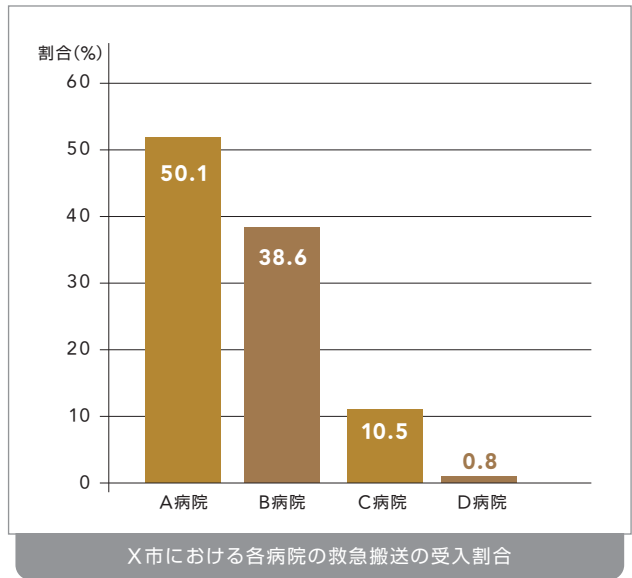
4. 病院医業収益と常勤換算医師数との関係

県内の病院における医業収益と常勤換算医師数の関係について、分析しました。2012(平成24)年の国民医療費(約38兆円)を医師数(約30万人)で割ると、医師一人あたりの医療費は約1.3億円となるため、医師一人あたりの医業収益が1.3億円となる緑の補助線を引きました。このラインより上にプロットされた病院は経営に努力しているものと考えられました。県南東部は県南西部に比べてこのラインを下回る病院が散見され、地域の医療提供体制の差が反映されているものと思われました。



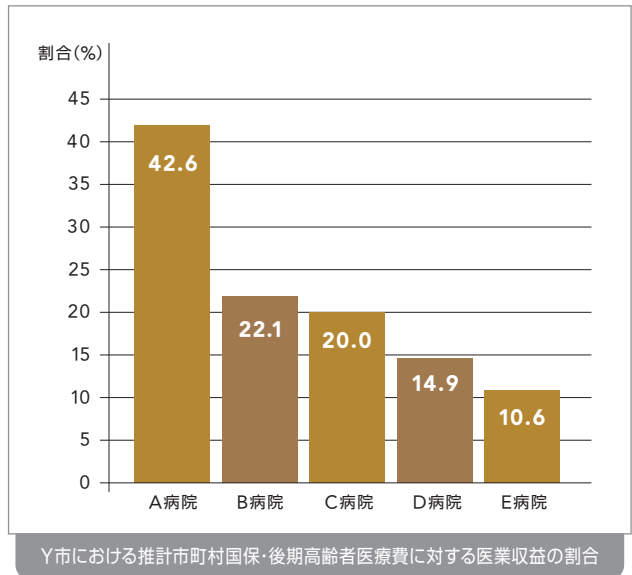
5. 地域における救急搬送の受入割合

病院の救急搬送の受入割合をグラフ化しました。病院ごとの体制の違いを考慮する必要があるものの、救急医療において地域に貢献している病院を可視化する指標と考えられました。



6. 地域における推計市町村国保・後期高齢者医療費に対する医業収益の割合

2011(平成23)年の医業収益が2010(平成22)年5月分の市町村国保・後期高齢者医療費を12倍したものに占める割合をグラフ化しました。医師数の多い病院や収益性の高い科を持つ病院の数値は高くなりやすいという点に留意する必要がありますが、地域における各病院のシェアをある程度反映している可能性があると思われました。



地域枠卒業医師のキャリア形成支援

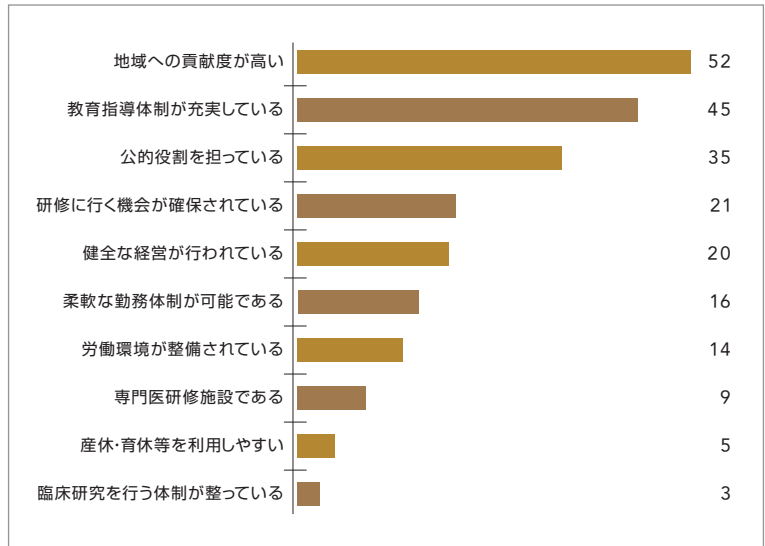
地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップの開催

日程 2013(平成25)年8月3日

岡山県が養成している地域枠学生の卒後の処遇やキャリアプランはどうあるべきかについて検討する「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を開催しました。県内病院の院長、研修担当指導医、大学病院教授、行政医師ら54名が参加しました。

自治医科大学地域医療学センターの梶井英治センター長から、地域医療の重要性、地域医療を担う医師のあり方等をテーマとして基調講演をいただきました。その後、当センターから、「県内医師の偏在状況」や「岡山大学病院所属医師の地域への派遣状況」等について報告を行いました。

それらを踏まえ、「地域枠学生の卒後の身分及び処遇」と「キャリアプランと派遣する医療機関の条件」についてグループワークを行い、グループごとに発表を行いました。発表後の質疑応答では、より良いものにできないか活発な意見交換が行われました。地域枠医師が配置される医療機関の条件については、「地域への貢献度が高い」ことが最も優先すべき条件として挙げられました。



地域枠医師の勤務施設の条件として重視すべき項目(4回選択)



キャリアモデル考案

1. 地域枠卒業医師のキャリア検討委員会の開催

岡山県の地域枠制度をより良いものとするため、岡山大学、岡山県、地域医療支援センターの関係者が一堂に会する「キャリア検討委員会」を設置し、詳細について協議を行いました。当事者である地域枠学生の意見を十分考慮する必要があるとして、第3回以降には地域枠学生にも参加していただき、一緒になって検討を行いました。

日程

第1回委員会	2013(平成25)年8月20日
第2回委員会	2013(平成25)年9月30日
学生ヒアリング	2013(平成25)年10月9日
第3回委員会	2013(平成25)年10月22日

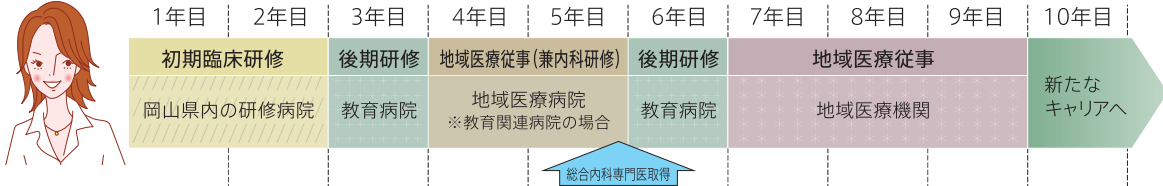
2. 地域枠学生の希望進路ヒアリングの実施

岡山大学支部では、地域枠の最上級生である岡山大学の5年生に対して個別面談を行い、将来希望する診療科等についてのヒアリングを行いました。

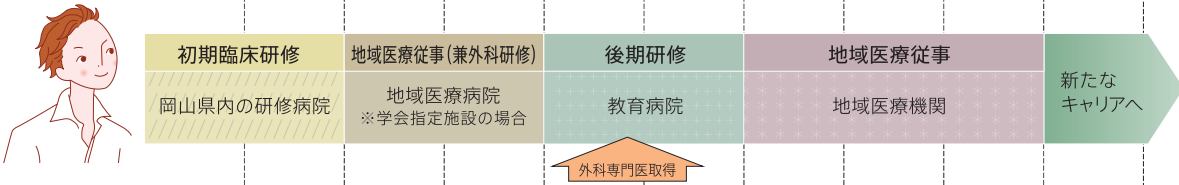
キャリアモデル刷新

地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ及びキャリア検討委員会での議論を踏まえ、地域枠卒業医師のキャリアモデルの再検討を行いました。

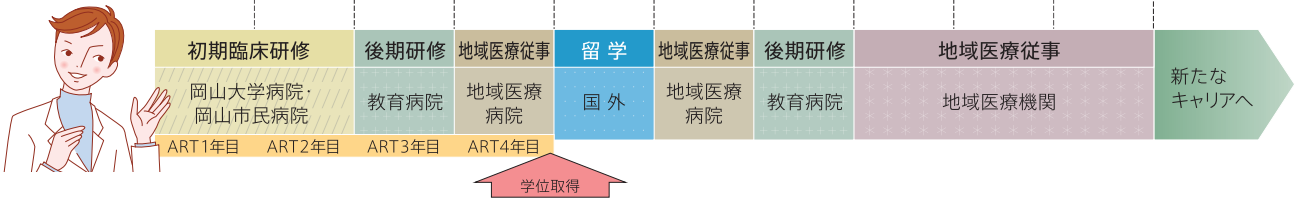
▼内科志望プラン例



▼外科志望プラン例



▼研究両立プラン例



医療人キャリアセンターMUSCATとの協力

医療人キャリアセンターMUSCATの企画に共催しました。

1. 第1回ケアを考えるセミナー

「地域だからこそできること ～看護・介護に思いを寄せて～」
 日程 2013(平成25)年1月23日
 講師 山谷富美枝 先生



2. 第2回ケアを考えるセミナー

「在宅ケアのはぐくむ力 ～訪問看護から見えてきた地域連携～」
 日程 2013(平成25)年6月28日
 講師 秋山正子 先生



3. 第4回岡山MUSCATフォーラム

「つなぐバトンー次世代へ・未来へー」
 日程 2013(平成25)年12月1日
 講師 服部祥子 先生



着任環境の整備に関する助言・支援

地域の医療機関でのシミュレーショントレーニングの開催

岡山大学医療教育統合開発センター、地域医療人材育成講座、医療人キャリアセンターMUSCATと共催で、MUSCAT Simディレクターの万代先生によるシミュレーション講習会を地域に出かけて開催しました。こうした取組によって地域の医療機関の教育力が強化されることを期待しています。



目の前で倒れた人を助けるスキルを学びませんか？

シミュレーショントレーニング in 矢掛

● 矢掛地域医療従事者（事務系の方も是非ご参加下さい）

日程 2013年9月24日(火) 19:00～20:00

● 矢掛町国民健康保険病院 リハビリ室

講師 万代 康弘 先生

岡山大学 岡山県地域医療推進センター岡山大学医務/准

岡山大学医療教育統合開発センター/准

岡山大学大学院 地域医療研究センター/准

医療人キャリアセンターMUSCAT/准

TEL 086-235-6833

日程

シミュレーショントレーニング in 備前	2013(平成25)年1月22日
シミュレーショントレーニング in 高梁	2013(平成25)年4月30日
シミュレーショントレーニング in 矢掛	2013(平成25)年9月24日
シミュレーショントレーニング in 湯原	2013(平成25)年10月23日

地域医療機関の訪問ヒアリング調査

地域の医療や救急の状況、病院の取組等を把握するため、県内の16の医療機関を訪問し、地域の実情、医療機関の取組等について訪問ヒアリング調査を実施しました。地域のクリニックとの積極的な連携や地域住民にわかりやすい診療表の作成などの地域の実情に合わせた病院の取組の状況を知ることができました。

また、併せて、センターへの要望を伺ったところ、「ヒアリング調査は是非継続いただきたい。」「地域の2次救急を維持するためにも、手術ができる外科医の充足に向けた協力をしていただきたい」といった声が聞かれました。これらの要望に対応できるよう、今後とも取組を進めていく方針です。



日程

瀬戸内市民病院、赤磐医師会病院	2013(平成25)年7月8日
岡山西大寺病院、岡村一心堂病院	2013(平成25)年9月2日
高梁市成羽病院、井原市民病院	2013(平成25)年4月18日
笠岡市民病院、笠岡第一病院	2013(平成25)年6月3日
湯原温泉病院、金田病院	2013(平成25)年9月11日
落合病院、高梁中央病院	2013(平成25)年11月18日
渡辺病院、新見中央病院、太田病院	2013(平成25)年2月20日
渡辺病院、長谷川記念病院	2013(平成25)年11月29日



赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会への参加

日程 2013(平成25)年6月20日

赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会へ参加しました。赤磐市民病院の無床診療所化に伴う医療体制の変化と必要な対策について協議しました。

連携協力・情報発信

地域医療支援センター運営委員会

地域の医療関係者との合意のもと、効果的に当センターの運営を行うため2013(平成25)年に2回、地域医療支援センター運営委員会を開催しました。会議では、当センター本部及び岡山大学支部のそれぞれの取組について報告を行うとともに、その報告内容を踏まえて委員と事務局で活発な意見交換を行いました。

日程

第2回 2013(平成25)年2月15日

第3回 2013(平成25)年9月30日



しまね地域医療支援センターとの意見交換

日程 2013(平成25)年1月23日

しまね地域医療支援センターから5名(鳥根県医師確保対策室の藤井企画員、鳥根大学医学部地域医療支援学講座の谷口教授と吉岡先生、地域医療支援コーディネータの横田さんと勝部さん)をお迎えし、それぞれのセンター運営状況について共有するとともに、活発な意見交換を行いました。今後ともお互いに意見交換・情報共有を行うことで、センターの円滑な運営に努めていくこととなりました。



地域医療支援センターの取組についての情報発信

当センターの取組を効果的に発信できるよう、医学生、医師等対象者ごとのページを設定するなど、ホームページを見やすく変更しました。

また、Facebookでも当センターの取組についての情報発信を行っています。

HP ● <http://chiikiiryuokayama.wix.com/centerokayama>

Facebook ● <https://www.facebook.com/chiikiiryu33>



編集後記

なんとか2013年の活動をまとめ、皆様にお届けすることが出来ました。

報告書をまとめる中で、様々な方にご協力いただいた1年間だったことを思い出し、改めて感謝の言葉を申し上げます。地域の医療を支える皆様のお力になれるよう、2014年も活動していきたいと思っております。

今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(岩瀬)

2013(平成25)年次報告書
発行:2014(平成26)年2月

岡山県地域医療支援センター

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県保健福祉部医療推進課内
TEL:086-226-7381 FAX:086-224-2313
E-mail:chiikiiryu@pref.okayama.jp
HP:<http://chiikiiryuokayama.wix.com/centerokayama>
Facebook:<https://www.facebook.com/chiikiiryu33>

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 MUSCAT CUBE 2階
TEL:086-235-6833 FAX:086-235-6834
E-mail:toshihide_iwase@cc.okayama-u.ac.jp
HP:<http://www.chiikiiryu33.jp>